



毎月第1・第3日曜日発行  
広報みたかはシルバー人材センターの会員がお届けしています。

発行:三鷹市/編集:秘書広報課  
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1  
法人番号:8000020132047

市役所代表電話  
☎0422-45-1151(代)  
ホームページ  
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト  
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/



## 今号の紙面から

12月3日～9日は障害者週間 ……	2面
社会保障・税番号(マイナンバー)制度のご案内 ……	3面
人事行政に関する状況の公表 ……	4・5面
市からのお知らせ ……	11面から
第24回三鷹市民駅伝大会 ……	12面
全国瞬時警報システム(J-ALERT)の試験放送を実施します ……	12面

# お子さんの健やかな成長を願って 地域で支える子育て応援!

市では子育て中のお母さん・お父さんを応援し、お子さんの成長を見守るために、さまざまな取り組みを行っています。子育てに悩んだときや疲れたとき、あるいは不安になったときには、家庭の中で孤立することなく、地域にたくさんの温かい見守りの手があることを忘れないでください。

☎子ども育成課☎内線2734



## お子さんが生まれたら…

### 乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん)事業

#### みなさんがお住まいの地域の 民生・児童委員が訪問します

おおむね生後4カ月までのお子さんがある全家庭を対象に、同じ地域に住む民生・児童委員が訪問し、市の子育て支援の案内パンフレットやブックスタートの絵本などをお届けします。



## 子育て中には…

### ひろば事業

#### 子育てについて、おしゃべりしませんか

市内には保育園や児童館などに常設の「親子ひろば」が12カ所あるほか、各保育園が実施している「地域開放」、すくすくひろばや保育園職員がコミュニティセンターに向いて開催する「出前ひろば」など、お子さんを自由に遊ばせながら、子育てについて情報交換できる場がたくさんあります。



親子ひろばの様子

## 子育てに悩んでいるときには…

### 相談・利用者支援事業

#### さまざまな子育ての相談、 保育サービスのご案内などを行います

専門職や関連機関と連携して、身近な子育ての不安から虐待、いじめ、引きこもりのケースまで、あらゆる相談に応じます。併せて、各種保育サービスについての情報提供など、利用者支援も行っています。



## 子育て家庭の強い味方

三鷹市子ども家庭支援センター  
のびのびひろば ☎40-5925  
すくすくひろば ☎45-7710

0～18歳未満のお子さんに関するさまざまな相談に応じるほか、ひろば事業やショートステイ、一時保育、育児支援ヘルパーの派遣なども行っています。また、地域の子育てに関する情報も提供します。

三鷹市総合保健センター ☎46-3254

育児・栄養・歯科などの相談を行っています。

## 子育てに関する情報満載

### 「子育てインフォメーション」 を開催します

11月16日(月)  
～20日(金)

多くの方々が安心して楽しく子育てができるよう、子ども・子育て支援新制度や市内の子育て関連施設など、子育てに役立つさまざまな情報をパネル展示で紹介します。期間中は、複数の保育士が常駐し、子育て支援情報の説明や、育児相談にもお応えします。ぜひ、気軽にお越しください。

☑午前9時～午後5時

(20日は3時まで)

☑市役所1階市民ホール

☑期間中会場へ



## すくすくひろばの催しを2面で紹介しています



2日間にわたり開催した「みたかまちづくりディスカッション」

### 市長のひとことコーナー

ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は12面参照)。

ご注目ください。

改定の骨格案では、最重要プロジェクトに引き続き「都市再生」と「コミュニティ創生」を置き、政策の基礎には「参加と協働」「危機管理」「行政改革」を置いています。多様な市民参加の過程でいただいた市民の皆様のご意見を最大限反映し、未来に向けた改定作業を進めたいと思います。12月には改定の素案を皆様にお示ししてパブリックコメントを実施する予定です。引き続き第1次改定にご注目ください。

また、7つのコミュニティ住区ごとに「まちづくり懇談会」を開催するとともに、10月31日と11月1日の2日間、無作為抽出で参加をお願いした1800名の市民の皆様のうち、ご承諾いただいた80名以上の市民の皆様に参加していただいたみたかまちづくりディスカッションを開催しました。「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」を拠点とした地域の元気を創造するまちづくりや、これからの地域福祉等のテーマ別に建設的なご意見をいただきました(写真)。

さらに、商工まつり等のイベント会場で三鷹市の施策にシール投票していただく「まちづくりひろば」を実施し、スマートフォンアプリを活用して三鷹市の魅力を再発見する取り組み「さんぽき」には、市民の皆様から2000件を超えるコメントと1万8000件を超える画像を送っていただきました。

改定の骨格案では、最重要プロジェクトに引き続き「都市再生」と「コミュニティ創生」を置き、政策の基礎には「参加と協働」「危機管理」「行政改革」を置いています。多様な市民参加の過程でいただいた市民の皆様のご意見を最大限反映し、未来に向けた改定作業を進めたいと思います。12月には改定の素案を皆様にお示ししてパブリックコメントを実施する予定です。引き続き第1次改定にご注目ください。

三鷹市では、平成27年度に第4次三鷹市基本計画の第1次改定作業を進めています。基本計画は多様な市民参加に基づいて平成23年度に策定したもので、平成34年度までの12年間を計画期間としています。改定では時点修正を原則としつつ、市長選挙・市議会議員選挙が行われたことや国の社会保障制度等の変化を踏まえて今後4年間の財政フレームも明らかにしています。

今年2月には三鷹市民の皆様3500名を対象に市民満足度・意向調査を郵送し、1500名を超える回答をいただき、その内容も反映して6月に定めた「基本方針・施策論点集」に基づき、9月には「骨格案」をまとめました。それを三鷹市議会に報告した後、10月11日に広報みたか特集号を発行し、折り込んだアンケートには2925通の回答が寄せられました。

また、7つのコミュニティ住区ごとに「まちづくり懇談会」を開催するとともに、10月31日と11月1日の2日間、無作為抽出で参加をお願いした1800名の市民の皆様のうち、ご承諾いただいた80名以上の市民の皆様に参加していただいたみたかまちづくりディスカッションを開催しました。「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」を拠点とした地域の元気を創造するまちづくりや、これからの地域福祉等のテーマ別に建設的なご意見をいただきました(写真)。

## 市長コラム

### 多様な市民参加で進む 基本計画の改定

三鷹市長 清原慶子